



商店街の魅力を子どもたちが再発見 Hon-Sanマルシェ+キッズフェス

◆主催：Hon-Sanマルシェ+キッズフェス実行委員会

2023年5月28日(日) 高山市本町三丁目商店街で、「Hon-Sanマルシェ+キッズフェス」が開催されました。本町三丁目商店街を舞台としたイベントである「Hon-Sanマルシェ」は、以前より行われていましたが、「キッズフェス」として、地域の子どもたちを中心としたイベントになってからは2回目の開催です。「Hon-Sanマルシェ+キッズフェス」について、実行委員の松葉早百合さんにお話を伺いました。

に行く方が多い気がします。若い世代に、高山の街中に来ることが楽しみ、と感じてもらいたいという想いでイベントを企画しています。」

商店街のメンバーを中心とした、7名の理事が毎月集まり、企画を考えました。その中で、「キッズフェス」として、子ども中心のイベントにすることで、子どもたちも子育て世代も、街に来るきっかけになると考えられたそうです。実際に、そのねらい通り、当日は多くの親子連れの姿が見られました。



▲キッズスペースで遊ぶ子どもたち



▲青空の下、歩行者天国で飲食を楽しむ人々

■ イベントの目的

「イベントの目的は、地域の子どもや子育て世代に、高山の街や商店街の魅力を知ってほしいという想いです。以前は、高山の街中に行くことは、若い人にとってとても楽しみなことでした。しかし、今は郊外や市外のショッピングモール

■ 子どもが主役になれるイベント

「Hon-Sanマルシェ+キッズフェス」の名の通り、「キッズチアダンスのパフォーマンス」や、高山市の小学生歌手による「ギタリスト演奏会」、「ボードゲームコーナー」などがあり、多くの子どもたちでにぎわっていました。中で

も、今回初めて商店街のお店の中で、「ドローン展示と体験会」を行いました。講師の話をしっかりと聞き、子どもたちがドローンをうまく操縦する姿が印象的でした。

「子どもたちに、普段の生活ではできない体験も、街に来ればできるという経験をしてほしいという想いで、ドローン体験を行いました。大好評の企画になり嬉しいです。」



▲ゴーグルをつけてドローンの操縦体験を行う子どもたち

■ 「Hon-Sanマルシェ」の今後の展望

「本町三丁目商店街を含め、高山の商店街は観光地と近いため、イベントを行うときは、ホテルや観光客用の駐車場との兼ね合いに大変苦労し

ます。今回も歩行者天国のエリアを、観光の方と地域の方、両方が楽しめるよう調整しました。」実行委員のみなさんが、関係先と連携を図り、本イベントは開催されています。

本町三丁目商店街の文具店は、今回のイベントでは、駄菓子屋として出店しており、多くの子どもたちが楽しそうにお菓子を選ぶ様子が印象的でした。「イベントをうまく活用いただいている商店街の方もいますが、そうでない方もいます。今後は、商店街組合員の理解と協力を更に強化し、商店街からの出店をより多くしたいと思います。」夏には、他の商店街も一緒に大きなイベントを行います。更なる盛り上がりを楽しみます。



▲実行委員手作りのステージ看板

街の声と行政の声をつなぐパイプ役 株式会社まちづくり飛騨高山

◆株式会社まちづくり飛騨高山

「まちづくり会社」とは、地域振興や中心市街地の活性化などを目的として、行政機関と民間企業のいいところを組み合わせた公共性の高い会社のことです。高山市の中心市街地活性化に向けて取り組む、まちづくり会社「株式会社まちづくり飛騨高山」の企画課・運営課 岩田桂一さんにお話を伺いました。

■ 「株式会社まちづくり飛騨高山」の成り立ち



▲「株式会社まちづくり飛騨高山」ホームページより

「株式会社まちづくり飛騨高山」は、飛騨高山の有する歴史、文化、伝統などの地域特性を活かし、地域住民に喜ばれ親しまれる中心市街地とともに、観光客をはじめ訪れる人たちにとっても魅力ある活気に溢れたまちづくりの推進を目的とし、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく会社として設立しました。「高山市、高山商工会議所、市内の4つの金融機関、高山市商店街振興組合連合会の共同出資によって成り立っており、平成27年の“高山市中心市街地活性化計画”の策定をきっかけに、まちづくり会社として本格的な活動が始まりました。」

■ 「株式会社まちづくり飛騨高山」の活動

「中心市街地活性化や地域振興のために様々な活動をしています。私たちの活動の特徴は、民間ではできないボランティア的な要素と、行政では難しい1人1人に対するきめ細かな対応です。主な活動は、地域へのヒアリングと情報提供で、その役割を担うのがタウンマネージャーです。タウンマネージャーは、まちづくりにおける諸問題の解決に向けて調査、研究、検討などを

行っており、市内にある商店街に出向き、困りごとを聞いたり、補助金などの支援制度の案内をしたりしています。また、必要に応じてヒアリングした内容を、行政に伝えています。」街の声と行政の声をつなぐ、パイプ役としての役割を担っているそうです。「また、ヒアリングした内容は、商店街の声としてまとめ、毎月開催される商店街の理事会に参加し、情報共有しています。」

「また、高山市内には映画館がなくなってしまっているため、地域の方に少しでも映像作品に触れてもらうために、“ツキイチシネマ”と題して、毎月短編映画を中心としたミニシアターを開催しています。」月に1回の上映を楽しみに、毎回通って下さる方もいらっしゃるそうです。

■ みんなの想いが良い方向に結びついた「おしごとたいけんかい」

「今年3月に行われたイベント“おしごとたいけんかい”は大成功のイベントになりました。イベントのきっかけを与えてくれたのは、地元の

高山市商店街 単組理事長 アンケート結果 (2023/3)

調査期間: 3/17 - 3/23

ヒアリング対象: 9 単組

作成日: 2023/3/29

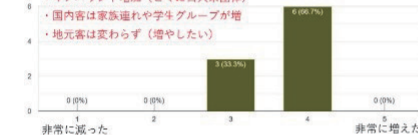
商店街の人流の多さは？ (主観値でOKです)

9件の回答



前月と比較して、商店街の人流の多さは？ (主観値でOKです)

9件の回答



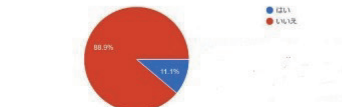
商店街のなかで、発生した(発生しそう)なものがあれば、教えてください

9件の回答



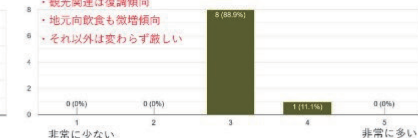
新たに、店舗を借り(買)たい、店舗を貸し(売)りたい、という人はいましたか？

9件の回答



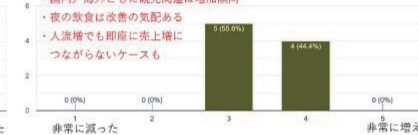
商店街全体の客足/繁盛度は？ (主観値でOKです)

9件の回答



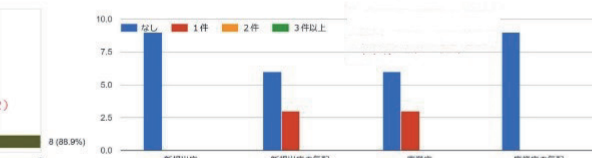
前月と比較して、商店街全体の客足/繁盛度は？ (主観値でOKです)

9件の回答



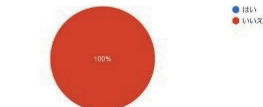
新規出店および廃業店について教えてください

9件の回答



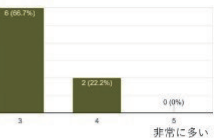
新たに、住居を借り(買)たい、住居を貸し(売)りたい、という人はいましたか？

9件の回答



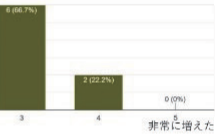
商店街自体の活気は？ (主観値でOKです)

9件の回答



前月と比較して、商店街自体の活気は？ (主観値でOKです)

9件の回答



やりたい/興味ある

- ・歩行者天国 (7月目標)
- ・通学行事の完全復活
- ・商店街を便りの集客
- ・来街者によるSNS発信
- ・アーケードの撤去
- ・街灯LED化
- ・マルシェ&キッズフェス

困りごと/相談事

- ・銀所有街灯の点検清掃
- ・商店主の高齢化
- ・理事/役員の後継者不足
- ・商店街フリーWiFiの取組
- ・下町回遊における交通安全化 (歩行者と自動車の事故防止)

▲毎月、商店街の理事会で発表している、高山市商店街理事長アンケート

斐太高等学校の生徒でした。中心市街地活性化のために何かできないか相談にのって欲しいと当社を訪ねて来ました。」それがきっかけで本イベントが始動したそうです。「商店街と組んで小学生のために、お仕事体験会をすることになりました。商店街のお店の方々やまちづくり協議会など様々な人たちも協力して、イベントを盛



▲「おしごとたいけんかい」での様子

り上げてくれました。当日は大勢の子どもたちが参加し、笑顔あふれる素敵なイベントになりました。もちろん体験会の最後には商店街の商品券を『お給料』としてお渡ししましたよ。」

■ 今後の活動について

「“おしごとたいけんかい”の成功は、当社がまちづくりを進めるにあたって大きな一歩になりました。今後は、市内の他の商店街でも開催したいです。」地域のことを大切に想う気持ちが伝わりました。

「近年ヒアリングで思うのは、事業主の高齢化と後継者不足です。高山市という地域の特性が、新規の出店や退店を難しくしています。今後は事業承継にも力を入れて取り組みたいです。」高山市のことを想って活動する「株式会社まちづくり飛騨高山」の今後の活動と、高山市の変化が楽しみです。

土岐市名物、てりかつ丼発祥のお店 「ちちや」(中央商店街振興組合)

土岐市駅より歩いて4分のところに「ちちや」があります。70年以上前にできたお店はレトロな雰囲気で懐かしさを感じます。お店の伝統を守り続ける3代目オーナーの小栗英敬さんにお話を伺いました。



▲「ちちや」外観

■ 「ちちや」70年の歴史

「ちちや」は、英敬さんの祖父が始めたお店です。祖父から父、父から英敬さんへとバトンが渡されました。

「父親にお店に戻って来ないか、と声をかけられました。いつかは店を継ぐことになるだろうと覚悟していたこともあり、すんなりと受け入れることができました。」

父と一緒に厨房に立ち4年が経った34歳のとき、父が年齢をきっかけにお店を退くことにしたため、中心となってお店の営業をすることになりました。「代変わりしたばかりの頃、祖父・父の代からお店に来ていただいているお客さんから、味が変わったと言われたことがあります。オーナーとしてやっていけるか不安に思った時もありましたが、“ちちや”を守りながらも自分

の色を出すことを大切に、お店を守ってきました。」英敬さんの想いやこだわりがお客様にも伝わり、味を受け入れてもらえるようになったそうです。それだけでなく、英敬さんの代から若い世代の常連のお客さんも増えました。



▲創業以来変わらないレトロな店内

■ 土岐市名物、ちちやのてりかつ井

ちちやと言えば、てりかつ井です。ご飯の上に千切りキャベツと大きなかつ、そこに「てり」と呼ばれる酸味がある甘辛いとろみのあるソースがかかっています。てりかつ井は、土岐市民のソ



▲「ちちや」名物 てりかつ井

◆ 令和4年度第2次補正予算「面的地域価値の向上・消費創出事業」の三次募集の開始

事業概要

コロナ禍による来街者ニーズの多様化や、足元

ウルフードとして愛されています。

「口コミサイトでも高い評価をいただいております、最近では県外の方が土岐市に遊びに来た際に、当店のかつ井を食べに来てくださいます。」英敬さんは長年愛されている「ちちや」の味を守りながら新たなファンの獲得をしています。

■ 商店街への想い

「当社ができた当初から大きく街並みは変わりました。残念なことに商店街もシャッターが目立つようになりました。土岐市に足を運んでもらい、魅力を伝えていきたいです。」70年以上、土岐市の街を見てきた「ちちや」の街への想いが伝わりました。



▲3代目オーナーの小栗英敬さん

住所：土岐市泉町久尻32-11

TEL：0572-55-3214

営業時間：11：00～14：00

16：30～20：00

定休日：月曜日、第2・4火曜日

【取材・記事 中小企業診断士 山口仁美】

の円安メリットを活かしたインバウンドの回復等が期待される中、商店街等が自らの魅力・地域資源等を用いて実施する滞留・交流空間整備

や消費創出事業等を支援します。その際、地域活性化等の知見を有する専門家が伴走し、事業実施中における定期的な効果測定及びそれに基づくアドバイス等を重ねることで、地域の面的な「稼ぐ力」の向上に繋がります。

補助対象事業者

1. 商店街等組織
2. 民間事業者と商店街等組織の連携体

補助事業の概要

- (1) 専門家による伴走支援
専門家が事業効果等を定期的に確認しながら面的に伴走支援
 - (2) 消費創出事業
回遊促進事業、体験事業、交流事業、ブランディング、情報発信強化など
 - (3) 滞留・交流空間整備事業
空き地・空き店舗の利活用、店舗等の機能転換、歩道等の利活用、景観整備(統一化)など
- ※(1)及び(2)が事業計画に含まれていることが必須要件となります。

補助率・補助額

- 補助率：2／3
- 補助額：上限額3,000万円
下限額200万円

募集期間

募集開始日：令和5年6月26日(月)
締切日：令和5年8月9日(水) 15時必着
※経済産業省では、補助金申請手続のワンストップ化と完全電子化を推進していますので、応募書類は原則、補助金電子申請システム「j Grants」を利用して提出してください。
※j Grantsを利用するにはGビズIDの取得が必要です。ID取得まで2～3週間程度の期間を要する場合がありますので余裕を持って準備をしてください。
※j Grantsを利用する場合、締切日の15時までに申請を実施したものが有効です。
※なお、任意団体等でGビズIDが取得できない等、j Grantsの利用が難しい場合は、所管経済産業局にご相談の上、電子メールにより提出してください。

交付要綱・募集要領等

中小企業庁のホームページからダウンロードできます。

本件のお問い合わせ先

中部経済産業局
流通・サービス産業課 商業振興室
TEL：052-951-0597

■新型コロナウイルス 5類移行後も慎重な感染対策を【岐阜県】

- 手洗いなどの手指衛生、換気
こまめな手洗い・消毒、定期的な換気を推奨
- マスクの着用
個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本としつつ、高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、マスク着用が効果的な場面では、マスク着用を推奨
- 法律に基づく外出自粛は求められない
【外出を控えることが推奨される期間】
発症日を0日として、5日間は外出を控えること

を推奨、かつ、5日目になっても症状が続いている場合は、症状軽快から24時間経過するまでの間は外出を控え、様子を見ることを推奨

- 流行期における「三つの密」の回避、人と人との距離の確保
流行期になった場合には、高齢者など重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や不特定多数の人がいるような混雑した場所では、近接した会話を避けることを推奨(避けられない場合はマスク着用が有効)

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。